

「基礎」から
「実践」へ！

研究日

5/29^水 6/26^水 7/24^水
13:45～ 体育館および各教室

5月末に今年度の校内研究がスタートしました。
昨年度と同様、2回の学年研究を通して、「どのような力を
育むか」、「そのためにどんなICTの活用が考えられる
か」、各学年でじっくりと話し合いをされました。



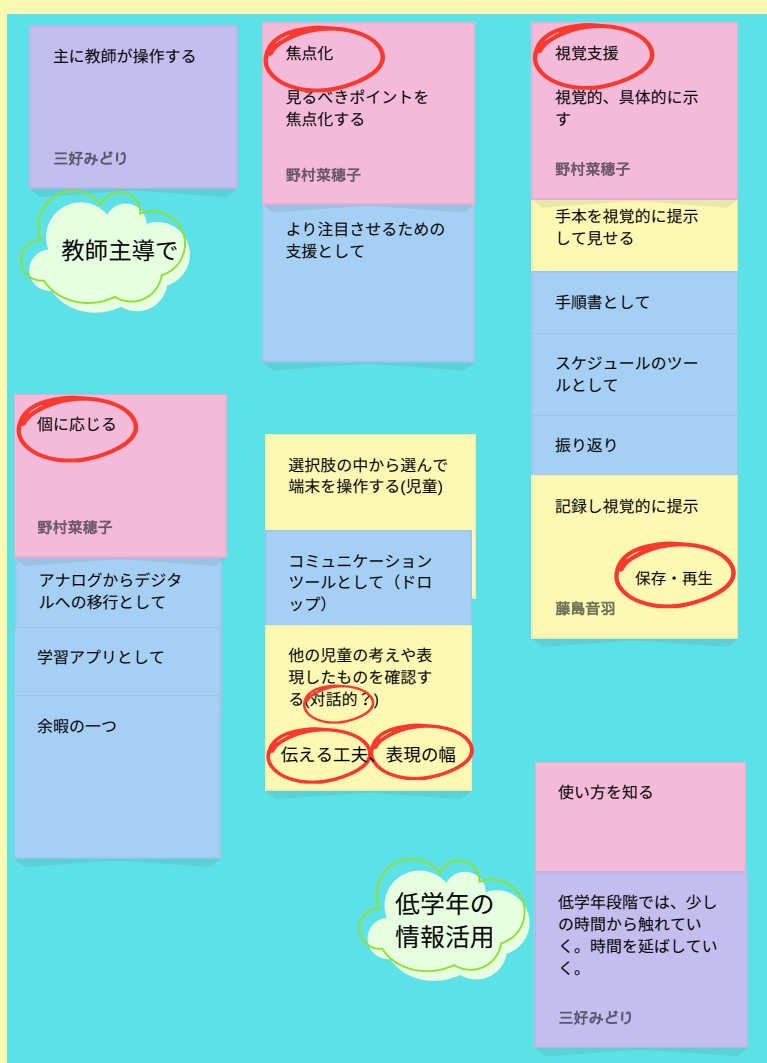
次のページ以降、学年ごとに出された情報・アイデアをグルーピングした図を載せています。
ご覧ください。

小1

当該学年の児童生徒にとって「生きる力」とは



そのために考えられる「ICT活用」とは

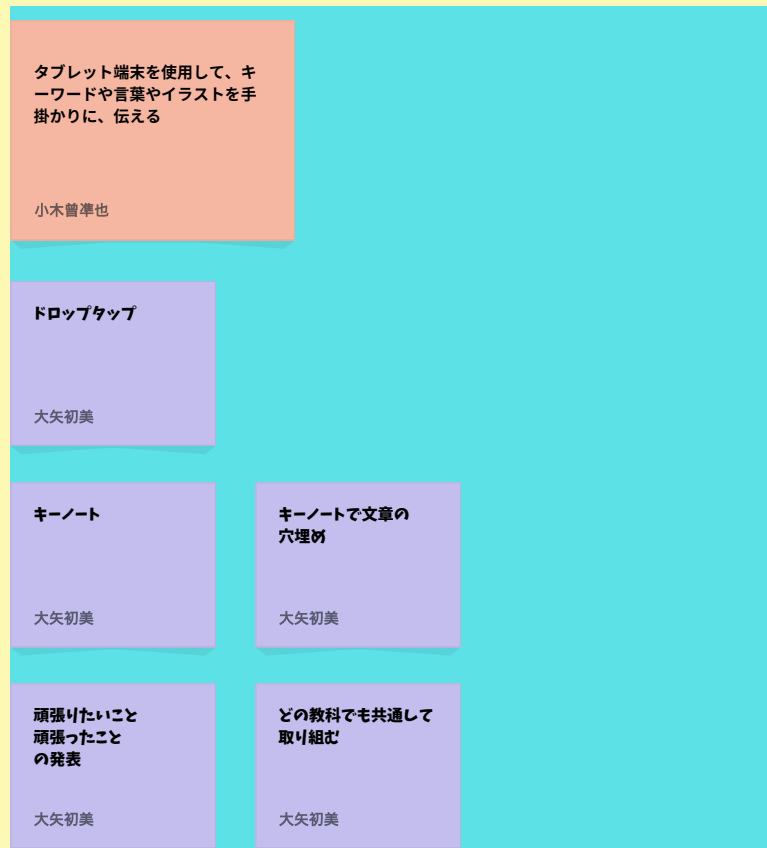


小2

当該学年の児童生徒にとって「生きる力」とは



そのために考えられる「ICT活用」とは



小3

当該学年の児童生徒にとって「生きる力」とは

- ・排泄
- ・食事
- ・身支度
- ・一つのことが終わってから次のことをする
- ・援助依頼
- ・自分の気持ちを伝える
- ・お礼と謝る姿勢
- ・整理整頓
- ・余暇の充実
- ・愛嬌

できた！だけではなく、きめ細やかな使い方、やり方、扱い方

早藤美紀子

(できる範囲で)自分のことは自分でする

yu k

体力

yu k

生活リズムの確立

時間を意識

yu k

自己肯定感

yu k

・活動の流れがわかる
聞いて→理解
→動く→誉められる→自己肯定感up

早藤美紀子

時間を守る

早藤美紀子

上西結香

伝える力

早藤美紀子

そのために考えられる「ICT活用」とは

- 日常生活の指導で細かいスケジュールを確認しながら取り組むような手立てを行なっていく。

上西結香

- ・見通しをもつ
- ・時間との兼ね合い

上西結香

QRコードを使った授業生単で実施するか？

上西結香

小4

当該学年の児童生徒にとって「生きる力」とは

去年の3年生

- イメージを持って活動→お手本の動画を用意
- 目標と自己評価をする→自己肯定感を上げる
- 自分で選択する

表出

受け入れる

自分の体調や現在の調子を相手に伝えることができる

中村彩奈

自己選択、自己決定の機会

自分の気持ちを伝える力

Kenji Kimura

人に伝わるように伝える

土田毅

挨拶などのコミュニケーション力

Kenji Kimura

困った時に助けを求められる

大辻

困った時に助けを求められる

中村彩奈

報告する

自分で調べる

中村彩奈

授業の参加度をあげる(手を挙げるだけではない)

湯藤瑞代

最後までやり抜く力

大辻知衣

相手の意見を受け入れる

融通をきかせる

変更を受け入れる力
柔軟性

自分のやりたいこと、やるべきことの折り合いをつける

Kenji Kimura

集団(周り)に合わせて動くことができる
協調性、柔軟性

大辻知衣

そのために考えられる「ICT活用」とは

スケジュールや持ち物、移動場所などを自分で管理する

ドロップタップで気持ちややりたい事を表出する

手順書

中村彩奈

実態に応じて、スイッチなども使用することで、その子なりの参加ができる

中村彩奈

イラストや音声があることで気持ちの表出がしやすくなる今の自分の気持ち、状況の理解がしやすくなる

大辻知衣

いくつかの選択肢から選ぶ

大辻知衣

キーボードで打ち込むことで意思を表出する

情報を仕入れたり、わからないことをその場で調べる

土田毅

動画などで自身を客観的に振り返る

アプリを活用することで抽象的な事柄を可視化したり数値化してわかりやすく伝えられる

土田毅

簡単な操作で入力が可能
絵日記、ワークシートなど

大辻知衣

振り返り動画

手順書や工程表の可視化

導入場面のスライドや動画〜興味関心

作文や観察日誌などのテキスト化〜修正がラクに

写真や動画で記録

Kenji Kimura

zoom等でのリモートでのやりとり

Kenji Kimura

友達の作ったものなどを鑑賞する。

湯藤瑞代

自分で

小5・6

当該学年の児童生徒にとって「生きる力」とは

困った時に伝える力
身辺自立
人との関わり方
見通しを持って行動する力

中島卓也

自分で選択、決定する機会を増やす

自分から助けを求めることができる

人との関わり、人間関係

見通しを持って動く

スケジュールを見て、次に何をすれば良いかが分かる

大滝幸人

気持ちを伝える力

他人にヘルプを出す

セルフケア 特に食べること

自分が何が好きかを知ること

他人を意識した行動

自分の気持ちや考えを伝える。

日生面の自立

待つ、我慢する。やりきる。

すなおさ。柔軟性。

友達(人)適切に関わる。楽しめる。

体力、健康

下田裕之

身辺自立
食事
排泄
清潔、衛生
整理整頓

一人で余暇を過ごせること

身辺自立
食事
排泄
清潔、衛生
整理整頓

気持ちの安定
お礼を言う
自分なりに考える
気持ちの安定

一人で余暇を過ごせること

あいさつ
へんじ
ほうこく
お願いができる
自分のことを自分の言葉で伝える

中1

中学部1年生の生徒にとって「生きる力」とは

自分の意思を伝える

正しいコミュニケーション、意思表示

意思表示ができる

戸坂有紀

意思表示

自分でできる力

1人でできることを増やす

自分で考えて行動する

中原なつみ

自立

助けてもらうことと、自分で頑張ることを区別する。

困った時に正しい方法で助けを求められる

中原なつみ

助けを求める

きまり

約束を守る

報告する

自分の将来を見据え、自分の得意なことや課題をいしきる

中原なつみ

気持ちの安定、コントロール

気持ちの安定

気持ちの安定

佐藤佑紀

誰とでもできる

友達や先生と関わる

佐々木康太

コミュニケーション

1人で過ごすこと

余暇を充実させる

大山想

そのために考えられる「ICT活用」とは

コミュニケーション能力の向上のために

動画撮影～振り返り

コミュニケーションツールとしての活用

ドロップタップ
挨拶返事報告用の何かしらのアプリや学習シート

そのために考えられる「ICT活用」とは

検索機能

Youtube

余暇の充実
気持ちの安定

佐々木康太

やりたいことや、作りたいものを検索する

大山想

スケジュール

リマインダー

気持ちの安定
落ち着いて活動できるようスケジュールの役割をもたせる

佐々木康太

学習内容やスケジュールを確認する手段として活用する

大山想

1人で確認して活動する

自立的な視点での活用
・コミュニケーションを助けるツールとしてDropTapなど

加藤範嗣

発表や進行場面で1人でできるように
DropTap、keynoteなど

加藤範嗣

共同編集機能を使ってまとめ活動を行う

根井亮宗

カメラ機能

カメラ機能を使って振り返り

根井亮宗

写真や動画で、教師や手本となる友達の姿と、自分自身の姿を見比べる

大山想

音声言語の代替

音声言語の代替

佐藤佑紀

音声入力でじぶんのきもちをつたえる

根井亮宗

中2

当該学年の児童生徒にとって「生きる力」とは

イラストや写真を使っ
ての選択肢を増やすこ
とができる

自分で調べる力が身につ
ける

福士俊介

福士俊介

意思を明確に表出
返事、応答

友達の姿から学ぶ
(模倣を自分のもの
に)

コミュニケーション
をもっと豊かに

掃部桂子

掃部桂子

掃部桂子

友達と協力する

意思表示ができる

約束を守る

井島祐輔

井島祐輔

井島祐輔

自分や相手のことを知
る

自分で考える力

時間の意識

周りとの関わり方を知
る

周りにペースを合わせ
る

正しい気持ちの表出方法

五十嵐ちひろ

五十嵐ちひろ

五十嵐ちひろ

取り組み続けるための
体力

上村春樹

挨拶 可愛らしさ 人
間力

上村春樹

自ら取り組みとうとする
意欲

上村春樹

そのために考えられる「ICT活用」とは

ものや人物、場所の写真
や感情や〇×などのイラスト
を用いて、選択した
り、自分の意思を表出し
たりする
また、自分で決めたとい
う責任感にもつながる

興味のあることや楽し
みなことを題材にし
て、授業を行う。使い
方や調べ方についても
同授業で取り扱う。

ドロップタップを活用
して、選択肢から選
び、表現する

掃部桂子

動画や写真を活用して、素敵
なところ探しをする
素敵ところをみんな
で模倣してみる(音楽
のダンス、器楽演奏、
美術の技法など)

掃部桂子

自分の気持ちや思いを選択肢
から選ぶ。
キャンパなどで共有す
る。

選択を表現する。クイ
ズ形式などにして。

掃部桂子

みんなでひとつのものを
つくる
canvaのアプリ
で

井島祐輔

ドロップタップで選
択し、表現する

タブレットのタイ
マーを使う

井島祐輔

約束や決まりがいつ
でも表示することが
できるようにする

井島祐輔

ドロップタップを活用
して表現の幅を広げる

自分でつくってプレゼ
ン

動画を撮って振り返る
五十嵐ちひろ

知りたいことをタブレット
で検索して学ぶ
→ canvaなどにその情報を
まとめる
五十嵐ちひろ

スケジュール管理のア
プリを使う
五十嵐ちひろ

ソーシャルスキル
レーニングのアプリ
を活用する
五十嵐ちひろ

タイムタイマーやスケジ
ュールによる終りの概念形成
を進め、実際場面の中に汎
化しながら授業を進める

興味関心のあるものの
中からやりたいものを
選択する

中3

当該学年の児童生徒にとって「生きる力」とは

1人で過ごせる

自分の気持ちを相手に
伝えられる

及川健太

選択する力

鈴木奈央美

自分のことができる

苦手なことの回避方
法

村井文

周りの環境に適応でき
る

及川健太

ルールや約束を守ること
ができる

及川健太

誰とでも 過ごせる

折り合いの付け方

村井文

集団活動

自立

生活の中で便利に使う
ことを
イメージする

米山隆弘

自分の気持ちを相手に
伝えられる

ヘルプを言える

いろんな人とコミュニ
ケーションがとれる

及川健太

気持ちを伝える
村井

困ったときに
助けてもらったり、
手伝ってもらうこと
ができる

鈴木奈央美

今の自分の気持ちを
相手に伝えられる

コミュニケーション

そのために考えられる「ICT活用」とは

選択する力

まるばつクイズ

鈴木奈央美

キーノートを活用して選択さ
せる

森可奈恵

マウスやスイッチを使
って選択させる

森可奈恵

いくつかある中から、どれが
好きなものを選ぶ

鈴木奈央美

漢字の検索結果については、
「翻訳機能」を使って、ひら
がなに翻訳することが出来る
らしい(ChatGPT による)

寺崎悟

少ない操作でできるも
の

振り返りするときに活用する

鈴木奈央美

選択クイズなどを作る。理解
できているかの確認もでき
る。

森可奈恵

ワンタッチで選べる物
を準備して、活用

米山隆弘

キャンパーは難しい

米山隆弘

興味のあるものを使っ
て、ICT機器の活用方
法を学ぶ

公開研は略案と単元計
画をだしてね
ピックアップ?
振返り!?

米山隆弘

上記の話し合いを経て、「当該学年で育みたい力を身に付けるために、どんなICT活用を行っていくか」がそれぞれ定まったと思います。活発な意見交流ありがとうございました。



重点について

「主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善」「障害による学習上または生活上の困難さを克服・改善」のためにも、次の3つのPOINTのうち、1つ以上を研究の重点としてICTを活用し、授業に取り入れていただくようお願いします。



POINT 1

個別最適な学び

確実に基礎的な知識及び技能を習得できるように授業改善を図ることや、自主的・自発的な学習が促されるような場面を工夫することが重要



POINT 2

協働的な学び

児童生徒同士の関わり合いなどを通じて、お互いの感性や考え方に触れながら学ぶことが重要



POINT 3

自立活動の視点

特別な支援が必要な児童生徒に特化した視点。各教科及び自立活動の授業において、個々の実態等に応じて実施



次回、研究日は9/6（水）になります。研究授業(12/20)の授業者や単元等の確定についてはこの日までになっていますので、どうぞよろしくお願いします。

次号以降の研究だよりでは、各学年の「生きる力を育むICT活用の実践」を紹介します。どんな力に焦点を当て、どんな機器やアプリを活用しているか、写真等交えながらお伝えしますので、ぜひご参考ください。